

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社 JERA（証券コード：－）

### 【新規】

債券予備格付 AA-

### 【据置】

長期発行体格付 AA-

格付の見通し 安定的

国内CP格付 J-1+

### ■ 格付事由

- 東京電力ホールディングスと中部電力の持分法適用関連会社（東京電力フェUEL&パワーと中部電力の折半出資）。火力発電のバリューチェーン全体に係る事業を両株主グループから承継しており、国内最大の発電能力と世界トップクラスの燃料調達力を併せ持つなど、強固な事業基盤を構築している。両株主グループとは資本、人事など各面で密接な関係にあり、当社格付には、両株主グループの電力事業において当社が不可欠な位置付けにあることを織り込んでいる。
- 火力発電事業の統合初年度は好業績を収めることができた。コロナ禍で燃料価格が大幅に低下する中、リスク/リターンバランスを重視した事業運営を継続できている。また、定期点検、修繕及び資材調達面におけるベストプラクティスを活用するなど、事業統合によるシナジーの発現も順調とみられる。中期的な収益力に対する見方に変化はなく、高水準の設備投資・投融資をこなしつつ、良好な財務構成を維持できるとJCRでは想定している。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 20/3期経常利益は1,744億円と電力業界内でも高水準の利益を確保した。国内発電事業の収益が本格寄与したうえ、燃調費調整の期ずれ影響がプラスに作用した。21/3期は新型コロナウイルス感染拡大による影響を受ける可能性があることには留意が必要である。ただし、中期的にみれば、両株主グループへの卸売が大半を占める国内発電、長期売電契約付きを中心とする海外発電にシナジー効果の発現が加わり、安定した収益力を発揮できると考えられる。また、石炭火力政策の見直しが進められているが、当社はLNG火力が主体であり、その影響は少ないと考えられる。
- 財務面では、20/3期末の自己資本比率38%と業界内で比較しても高い水準を維持している。今後も国内火力の新設・リプレースや海外事業など高水準の設備投資や投融資が続き、有利子負債の増加が見込まれる。ただし、国内火力発電事業を中心にキャッシュフロー創出力は高く、着実な利益蓄積を踏まえば、財務構成の悪化は限定的と想定される。中長期的にみると、再生可能エネルギー発電事業への投資が見込まれるため、その方針や規模に留意していく。

（担当）殿村 成信・小野 正志

### ■ 格付対象

発行体：株式会社 JERA

### 【新規】

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	予備格付
第1回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2020年10月27日 （注）	2025年10月24日	未定	AA-
第2回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2020年10月27日 （注）	2030年10月25日	未定	AA-

（注）発行日は利率決定日において正式に決定する予定。

**【据置】**

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

  

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	1,000億円	J-1+

**格付提供方針に基づくその他開示事項**

- 信用格付を付与した年月日：第1・2回債 2020年9月30日  
上記以外 2020年9月28日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：殿村 成信
- 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「電力」(2020年5月29日)として掲載している。
- 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 株式会社 JERA
- 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
  - 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
  - 格付関係者が提供した格付対象の商品内容に関する書類
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCR に対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

**■留意事項**

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

**■用語解説**

**予備格付**：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

**■NRSRO 登録状況**

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

**■本件に関するお問い合わせ先**

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル